

(教員向け) 研究者のための

英語論文執筆ワークショップ (3/8, 3/9)

事前申込受付中!

2013年に実施された若手教員向けのアンケート調査では、学術目的でのライティングに関して苦労していることとして、英語論文の執筆に時間がかかるとの回答が寄せられています。この機会に、的確なワードチョイス、あるべき文章校正に関する知識を整理し、英語論文執筆スピードの確実なアップを目指しませんか。昨年好評だった若手教員向けのワークショップを再度実施します。本ワークショップは、査読付き英文学術誌に筆頭著者として論文の掲載、あるいは投稿の経験があり、執筆論文の更なる質的向上を目指す若手教員を対象としています。実用的な演習を含む英文学術論文の執筆に必要とされる手法・知識に関する3時間の講義です。

日時

(生命科学・社会科学系)

平成29年3月8日(水) 14:00-17:00

(理工系)

平成29年3月9日(木) 14:00-17:00

8日、9日の講義内容は同一です。ご都合悪い場合は、ご自身の専門と異なるセミナーに参加することも可能です。(演習で用いられる事例は、表記の分野に応じたものになります。)

会場

創成科学研究棟 5階 大会議室

参加費

無料

受講対象者

以下の条件を満たす方

- 1) 本学に所属している45歳以下(平成28年4月1日時点)の教員または特任教員
- 2) 筆頭著者として、査読付き英文学術誌への掲載もしくは投稿経験がある方

プログラム

本セミナーの使用言語は英語です

- 執筆の前に
アウトラインからドラフト作成まで、セクションの執筆順など
- 学術論文執筆スキル
ワードチョイス, 文体, よくみられる定型語の間違った使用
- 論文構成
導入, 方法論, 結果, 考察の各セクションで記述すべき項目とよく見られる間違った記述
セクション間の記述の連携
わかりやすい表, グラフ作成上の注意点
- 論文タイトルの選び方とアブストラクト等

昨年ワークショップで使用された演習事例紹介

以下の文章を, 科学論文の記述としてふさわしい文章に修正しなさい

- To ascertain whether our algorithm was correct, the simulation results were carefully analyzed with the appropriate methods.
- Economists considered Tanaka Industries, a large Japanese trading corporation founded in 1916 outside of Nagoya by Ichiro Tanaka, to be a model in the development of modern employee conditions worldwide.

講師

- Dr. Trevor Lane 氏 シニア・エディター
エダンググループ ジャパン (株)
- Ms. Ayli Chong 氏 コピー・エディター
エダンググループ ジャパン (株)



Dr Trevor Lane

エダング グループ ジャパン (株)
シニアエディター
<経歴>
1995 - PhD Physiological Sciences,
University of Oxford, UK



Ayli Chong

エダング グループ ジャパン (株)
コピーエディター
<経歴>
2005 - BHLthSci Hearing and Speech,
The University of Sydney, Australia

申込み詳細

下記 URA ステーションのイベントページをご覧ください。

<http://bit.ly/2kbUngU>

申込締切 3月6日 (月)



定員

生命科学・社会科学系、理工系 各回 30名程度